

【シリーズ】 智頭の交通の未来

〜 第1回 共助交通の概要 〜

技術の進歩、社会の変化と共に、私たちのライフスタイルは常に変化してきました。今、暮らしを支える交通手段にも変化が訪れています。

このシリーズでは令和5年度導入予定の新しい交通の仕組み、「共助交通」について特集します。

第1回となる今回は、共助交通の概要について解説します。

共助交通とは？

「共助」とは「地域の人々が協力して助け合う」という意味。共助交通は、地域住民が主体となって自家用車等を活用し、有償で互いに運送を行う仕組みです。

人口減少・高齢化が進み、多くの地域でバスなどの公共交通の維持が難しくなる中、共助交通は、持続可能な交通手段の確保ができる次世代の交通の仕組みとして全国の自治体で注目されています。

本町でも、令和3年度に山形・山郷地区で実証実験を行い、本格導入に向けて準備を進めています。



告知端末を使った予約の様子



乗車の様子

※実証実験では3週間で延べ221人が利用されました。

🔊 ドライバーを募集します！

6月からドライバーの募集を予定しています。詳しくは今月号の折り込みチラシをご確認ください！

たくさんの
問合せ・ご応募
をお待ちして
います！！



役場企画課
西川 淳

役場企画課
米本紗英

共助交通 Q & A

- Q. いつから始まるの？
A. 令和5年度から導入予定です。本年度に全町域でのお試し運行を予定しています。
- Q. いくらで乗れるの？
A. 検討中です（令和3年度実証実験では300円～500円の価格帯での利用を求める声が多くありました）
- Q. どうやって予約するの？
A. ご家庭の告知端末を使って簡単に予約ができます。また、電話予約でも対応可能です。
- Q. すぎっ子バスはどうなるの？
A. 朝・夕方の通学のためのスクールバス化を予定しています。詳しくは次号で解説いたします。

問合せ先 役場企画課 ☎ 75-4112

次回の特集は、「すぎっ子バスはどうなるの？」です。